

山中のオアシス

水は青く澄んでいた。霧島連山の豊富な水が「出の山池」に流入する。ここでは虹鱒・鮎・鯉・ウナギ等の養殖が行われ、更には世界三大珍味の一つキャビアで有名な「チョウザメ」も飼育されている。つまり水が綺麗でなければ全ての生き物が育たない環境にあるのだ。勿論のこと全国名水百選にも選定されている。

毎年5月下旬から6月上旬にかけて夜になると、この世のものとは思えない美しい光のページェントが繰り広げられる。それは数万匹とも言われるホタルの光が華麗に乱舞する。ここはゲンジボタルの「ふるさといきもの里」に認定されている。

この池の周りには出の山淡水魚水族館があり、世界でも珍しい淡水魚100種1800匹が展示されている。更には鯉・マス料理店もあり都会では決して味わえない新鮮な料理と大自然のロケーションが楽しめる。

ここは宮崎県の南西部に位置する小林市にある。小林と聞けば全国的に有名な県立小林高校駅伝部だ。私が住む兵庫県も高校駅伝の王国と言われているが、小林高校は全国駅伝大会47回出場。その内優勝7回を誇っている。元オリンピックの谷口浩美もこの出身である。何故このような地域から素晴らしい伝統校が出来たのか？不思議に思っていた。その答えは優秀な監督・コーチ陣に尽きるが、もう一つはこの大自然に恵まれた素晴らしい環境にあるように思えてならない。日本は美しい国だな〜と全身で感じたひと時であった。

撮影 2012年冬

